



わ～おいちそう！

未満児クラスの給食でのひとときです。

保育教諭がグレープフルーツを食べようとすると、「わ～、おいちそう」とひと言。

また、白飯のおかわりがほしくて「おかわり、おちいな～（ほしいな）」とひと言。

そのおかわりをよそってもらい、目の前の白飯を見て「わ～おいちそう（おいしそう）」とひと言。

白飯に感激してくれるなんて・・・なんとかわいい。担任からの嬉しそうな報告に、私の心がほっこりしました。

まさしく“食育”です。

また、先日のやき芋パーティーでは、芋が焼ける臭いを感じ、「あ～いいにおい！」と。

そして、食べる前から「あ～おいしそう」の言葉が。

近年、「食」を取り巻く環境が大きく変化してきました。

食に関する情報が氾濫し、自然の恵みに思いを馳せることなく、簡単に食べ物が手に入る時代です。そんな「飽食の時代」である一方で、栄養の偏り、不規則な食事、肥満や生活習慣病の増加等の問題も叫ばれています。希薄になりつつある毎日の「食」に対する意識です。しかし、“健全な食生活”こそ、健康で豊かな人間性を育む上で重要であると、見直されつつあります。

白飯を見て、「わ～おいちそう」と言う子どもの姿から、ご家庭での食事の様子が伝わってきます。人間性を育んでいく基礎となる大切な時期ですので、ぱくぱくもりもりと食べてほしいですね。

今年度も後半に入り、確かに心身ともに大きく成長した子ども達。楽しい給食の時間を大切にしたいです。

園長 長尾佳子